

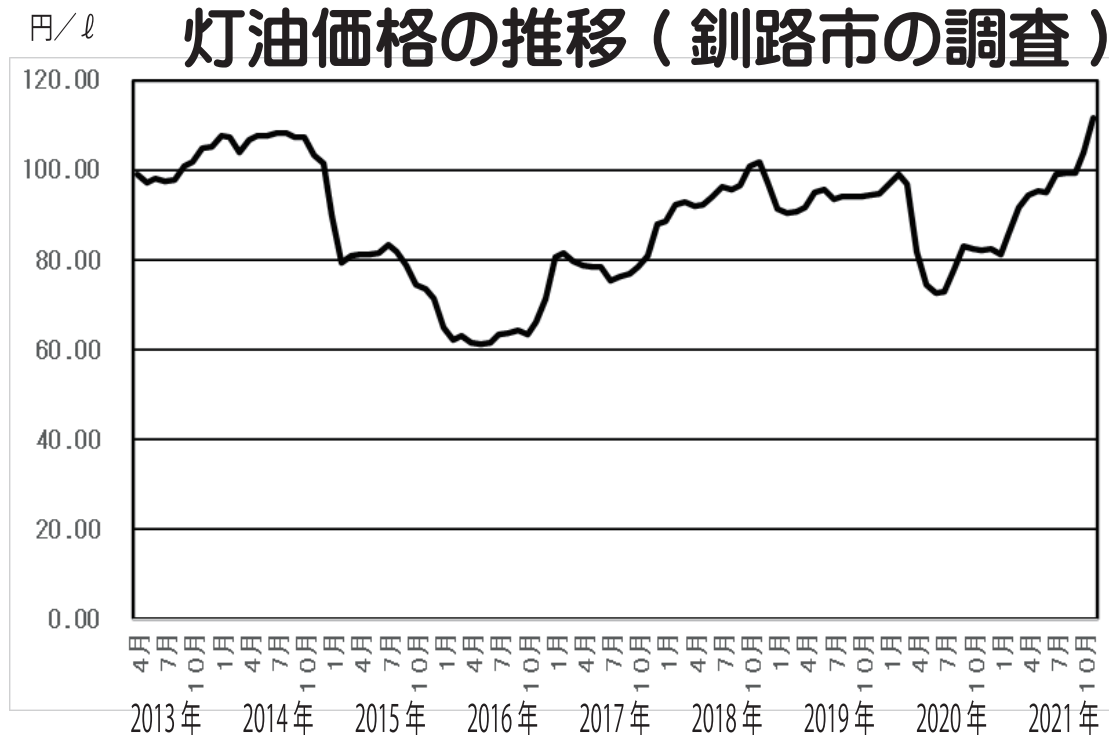
灯油の高騰で各地で悲鳴 ——「このままでは冬を越せない」 釧路管内で未実施は釧路市だけ、一刻も早く「福祉灯油」を実施して

13年ぶりの高値を記録

私が訪問するご家庭で一番に話題になるのが「灯油代」。何とかならないかの声をよく耳にします。

それもそのはず。11月、1ℓ当たり111円を超えました。13年ぶりの高値ですが、実は13年前に最高額となつたのは夏場。需要期の冬にこれだけの高値になったことはありません。

しかも、値上げは当分続きそうというのですから、大ピンチです。



福祉灯油ってなに？

そのうえで、もう一つ驚かれるのが「福祉灯油」のこと。釧路管内の町村は全部、住民税非課税世帯やひとり親、障がい者のいる世帯、高齢世帯などの条件をつけて、灯油代の補助をしています。「福祉灯油」と呼ばれる制度です。

釧路管内の市町村の福祉灯油の実施状況

	対象			助成額	備考
	高齢者	障がい	ひとり親		
釧路町			○	灯油90ℓ分	
厚岸町	○	○	○	灯油60ℓ分	100ℓへの増額を検討中
浜中町	○	○	○	灯油100ℓ分	生保世帯も対象
標茶町	○	○	○	灯油100ℓ分	非課税世帯はすべて対象
弟子屈町	○	○	○	基準額1万円+5千円×家族の人数	
鶴居村	○	○	○	10,000円	
白糠町	○	○	○	灯油60ℓ分	

※ほとんどの自治体が住民税非課税という所得制限を設け、そのうえで、高齢世帯、障がい者のいる世帯、ひとり親の世帯などに支給しています。ただし、生保世帯や施設入所の世帯などを除いているところが多いようです。

「釧路管内で、全く実施していないのは釧路市だけです」とお話しすると、「そりゃ、市長が悪いわ」と異口同音に言われます。

福祉灯油の助成はせいぜい一冬1万5千円。全額を賄えるわけではありません。それでも釧路市よりはるかに、「ぬくもり」があります。

（以前、釧路市はぬくもり助成金の名前で福祉灯油を行っていましたが、行革で廃止してしまいました。）

限定的でも福祉灯油を

村上かずしげ議員は、12月議会で、「せめて灯油高騰の今年度に限定してでも、福祉灯油をただちに実施すべき」と質問します。

